第4部 ロボット制御演習 (Robot Control)

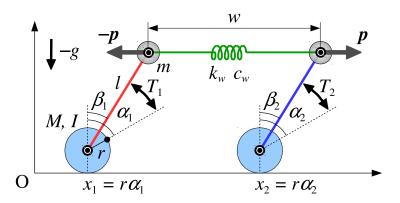
宇都宮大学工学研究科 吉田勝俊

2018.1.22版

目	次	
12	対戦型ロボット・シミュレータの作成 12.1 リンク結合の数理モデル	37 37 39
13	研究課題	40
A	プログラム例	41

12 対戦型ロボット・シミュレータの作成

第3部 **11.4** 節 $_{p30}$ では、倒れすぎると転倒する車輪型倒立ロボットを作った。これを 2 台用意して、先端をバネとダンパーの直動リンクで結合した次のマルチロボットシステムを考える。



w はリンクの長さ,p は右側先端にリンクが及ぼす力である.作用・反作用により左側先端には -p がかかる.振り子棒とリンクは回転対偶をなし摩擦は無いものとする.また,リンクの質量は無視する.

ここで、左側のロボットのトルク T_1 に新たな制御入力u(t)を

用御の打切 PD 制御による倒立安定化
$$T_1 = \underbrace{\operatorname{trap}(\beta, 0, \beta_0) \cdot (K_1 \alpha + K_2 \dot{\alpha} + K_3 \beta + K_4 \dot{\beta})}_{\text{第 3 部 11.4 節 p30}} + u(t)$$
 (12.1)

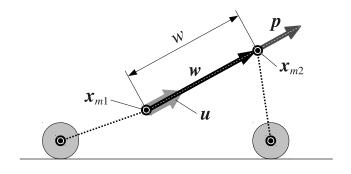
のように追加して、右側のロボットを転倒させる問題を考える。もし具体的なu(t)を適切に構成できれば、手押し相撲を模したような対戦的挙動が実現するに違いない。

12.1 リンク結合の数理モデル

まず, リンクの自然長を w_0 とおき, pの大きさ(負値も認める)を

$$p \equiv -k_w(w - w_0) - c_w \dot{w} \tag{12.2}$$

で定めることにする. 次に、ロボットの姿勢 $(\alpha_1, \beta_1, \alpha_2, \beta_2)$ から、 w, \dot{w} および p の方向を 割り出すため、次のような幾何学を考える.



各先端の位置ベクトル x_{mi} は、第3部の式(8.4) p20 にあるように、

$$\boldsymbol{x}_{mi} = \begin{bmatrix} r\alpha_i + l\sin\beta_i \\ r + l\cos\beta_i \end{bmatrix} \quad (i = 1, 2)$$
 (12.3)

であった. これより左先端から右先端に向う変位ベクトル

$$\boldsymbol{w} \equiv \boldsymbol{x}_{m2} - \boldsymbol{x}_{m1} = \begin{bmatrix} r(\alpha_2 - \alpha_1) + l(\sin \beta_2 - \sin \beta_1) \\ l(\cos \beta_2 - \cos \beta_1) \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} w_x \\ w_y \end{bmatrix}$$
(12.4)

が得られる. ゆえに、姿勢 $(\alpha_1, \beta_1, \alpha_2, \beta_2)$ におけるリンク長は

$$w = |\mathbf{w}| = \sqrt{w_x^2 + w_y^2}$$

$$= \sqrt{\left(r(\alpha_2 - \alpha_1) + l(\sin \beta_2 - \sin \beta_1)\right)^2 + \left(l(\cos \beta_2 - \cos \beta_1)\right)^2}$$
 (12.5)

と書ける. また \dot{w} については, wの時間微分

$$\dot{\boldsymbol{w}} = \begin{bmatrix} r(\dot{\alpha}_2 - \dot{\alpha}_1) + l(\dot{\beta}_2 \cos \beta_2 - \dot{\beta}_1 \cos \beta_1) \\ l(-\dot{\beta}_2 \sin \beta_2 + \dot{\beta}_1 \sin \beta_1) \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} \dot{w}_x \\ \dot{w}_y \end{bmatrix}$$
(12.6)

と、微分公式 $(\sqrt{x^2+y^2}) = (\dot{x}x+\dot{y}y)/\sqrt{x^2+y^2}$ より、

$$\dot{w} = (\dot{w}_x w_x + \dot{w}_y w_y)/w \tag{12.7}$$

となる. 次にpを求める. 振り子棒とリンクの間に摩擦はないので,pの方向はwの方向に一致する. ゆえに振り子の先端が受ける力pは,w方向の単位ベクトルuに,pの大きさpを乗じたものとして

$$p = p\mathbf{u}, \quad \mathbf{u} \equiv \mathbf{w}/w, \quad p = \vec{\mathbf{x}} (12.2) \text{ p37}$$
 (12.8)

のように表せる.

振り子の先端には,以上のpのほか,第3部 (11.13) p31 の床の反力fが加わる.具体的には,左の先端には合力 f_1-p が作用し,右の先端には合力 f_2+p が作用する.これらの作用を,姿勢角 α , β に関する一般化力 $\mathcal{F}_f=(f_\alpha,f_\beta)^T$ で表すと,第3部の変換公式 (11.12) p31 より,

$$\mathcal{F}_{f}^{2} = \begin{bmatrix} f_{\alpha}^{2} \\ f_{\beta}^{2} \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} r & 0 \\ l\cos\beta_{2} & -l\sin\beta_{2} \end{bmatrix} (\boldsymbol{f}_{2} + \boldsymbol{p})$$
 % $\boldsymbol{\pi}$ (12.10)

となる (左右でpの符号に注意せよ).

実習 4.1 Code 8 を実行せよ. 結合ロボットの運動が確認できる. そのまま実行すると, 共倒れとなる. プログラムの 90 行付近

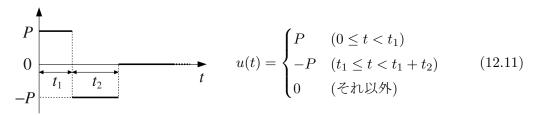
x01=[0; 0; 0; 2]; //左側の初期値

の2の部分(βの初期角速度)だけを変更して、左の勝ちを作れるか? 試みよ.

12.2 バンバン制御

車の位置や速度を、フル加速とフルブレーキングだけでコントロールするような制御方式を**バンバン制御** (bang-bang control) という。すなわち、制御入力が最大値と最小値しかとらないような制御方式をバンバン制御という。このようなバンバン制御の入力を、(12.1) p37 の制御入力 u(t) に与えて、左のロボットを勝利に導こう。

例えば、段数が2のバンバン制御入力の例を以下に示す.



このu(t) は、t=0 から t_1 秒間はu(t)=P を出力し、続く t_2 秒間は逆向きのu(t)=-P を出力する.それ以外の時刻ではu(t)=0、すなわち出力を停止する.Scilab では if 文を用いて、例えば、次のように表せる.

同様にして、3段の場合は、

$$P$$
 t_1 t_2 t_3 $u(t) = \begin{cases} P & (0 \le t < t_1) \\ -P & (t_1 \le t < t_1 + t_2) \\ P & (t_1 + t_2 \le t < t_1 + t_2 + t_3) \end{cases}$ (12.12) $t_1 = 0.36$; $t_2 = 0.78$; $t_3 = 0.38$; #切替時間 if $t_3 = 0.38$; $t_4 = 0.38$;

となる. 同様にして、切替時間 t_4, t_5, \cdots を追加し、場合分けを追加すれば、任意の段数のバンバン制御入力が実現できる.

実習 4.2 Code 9 を実行せよ. 左のロボットが行使する 3 段のバンバン制御により, 左のロボットが勝利する. なお, 今回のアニメーションでは, 水平方向の視点をこの系の重心に置いた. (重心運動に追従するカメラからの映像になっている)

13 研究課題

グループで協力して、以下の問題を解決せよ.分らないことがあれば、まずグループ内で解決を試みよ.それでも分らなければ、他のグループにも相談せよ.

問題 4.1 左(赤)のロボットに与えるバンバン入力を調整して(切替時刻および段数),

- 1. 左(赤)の勝ち
- 2. 右(青)の勝ち
- 3. 引き分け
- 4. 共倒れ

を全て再現せよ.対応するバンバン入力を,数式と数値で記録せよ.

問題 4.3 左 (赤) のロボットが勝利し、なおかつ右 (青) のロボットが左側に倒れるような、バンバン入力を構成せよ.

問題 4.4 支給プログラム Code 9 では,右 (青) 用のバンバン入力 bang2(t) は空であり,左 (赤) が勝利した.この bang2(t) に何らかの処理を追加して,左 (赤) に勝て.ただし,次のルールに従うこととする.

- bang2(t) の中身以外の部分は,支給プログラム Code 9 p42 のままとする.
- bang2(t) の中身の変更方法は問わない.

参考文献

- [1] 吉田勝俊著:「機械力学」(宇都宮大学大学生協)
- [2] 吉田ほか 2名: "Artificial wrestling: A dynamical formulation of autonomous agents fighting in a coupled inverted pendula framework", *Mechanical Engineering Journal*, Vol.2, No.5 (2015), http://dx.doi.org/10.1299/mej.14-00518

A プログラム例

Code 8: "wip2.sce" (Scilab)

```
1 | clear; clf();
2 | ///////// 諸元 /////////////
3 | M=1, J=0.1, m=5, r=0.2, l=1, g=9.8;
4 | bmax=0.29; //転倒角
// 麻 熔 祭
 y = 1.0./(1.0 + exp(-s*x));
                                                                                             // ステップ関数
11 | y - 1.0./(1.0 exp( 3.2/),
12 | endfunction
13 | function y = trap(x, x0, w)
14| y = step((x-x0)+w).*step(-(x-x0)+w);
15| endfunction
                                                                                             // 台 形 関 数
16 function y = sgn(x)

17 s = 1e4;

18 y = (2.0/(1+exp(-s*x))-1.0);
                           = sgn( x )
                                                                                             //符号関数
19| endfunction
20| //// 床からの反力 (ペナルティー法) ////
21| function ff = yuka(x)
22| a=x(1); da=x(2); b=x(3); db=x(4);
23| xm = [r*a+1*sin(b); r+1*cos(b)];
24| dxm = [r*da+1*db*cos(b); -1*db*sin(b)];
25| Kp=1e4; Cp=90; //これらの数値を変えると床の性質が変わる
26| R = step(-xm(2))*(-Kp*xm(2)-Cp*dxm(2)); //垂直抗力
27| F = -mu*R*sgn(dxm(1)); //摩擦力
28| ff = [F; R]; //床からの反力
29| endfunction
 19 endfunction
29| endfunction

30| //// リンクからの反力 ////

31| function pp = rinku(x)

32| a1=x(1); da1=x(2); b1=x(3); db1=x(4);

33| a2=x(5); da2=x(6); b2=x(7); db2=x(8);

34| //リンクからの力

35| ww = [r*(a2-a1)+1*(sin(b2)-sin(b1));...

36| l*(cos(b2)-cos(b1))];

37| dww = [r*(da2-da1)+1*(db2*cos(b2)-db1*cos(b1));.

38| l*(-db2*sin(b2)+db1*sin(b1))];
 29 endfunction
             w = norm(ww); //wwの長さ
dw = ( dww(1)*ww(1)+dww(2)*ww(2) )/w; //wwの長さの時間微分
39|
401
             uu = ww/w; //単位ベクトル化
41|
45| //// 振り子先端に作用するカ→一般化力 /////
46| function Ff = sentan(x,F)
47| global r 1;
48| b=x(3);
             Ff = [r, 0; 1*cos(b), -1*sin(b)]*F; //一般化力への変換公式
50| endrunction

51| //// 倒立制御入力 /////

52| function u = toritu(x,a0)

53| a=x(1); da=x(2); b=x(3); db=x(4);

54| /// 制御の打ち切り×(位置制御 + 倒立制御) ///

55| u = trap(b,0,bmax)*(1*(a-a0) + 0.5*da + 40*b + 4*db); //a0は目標位置

57| //// 海動士中土の土田 ///
 57 //// 運動方程式の右辺 ////
bb = [m*1*r*db^2 *sin(b); m*g*1*sin(b)] + F; //Fは一般化力
63| h = A\DD,
64| endfunction
65| //// 運動方程式の定義 /////
66| function dx = eom(t,x)
~~ = rinku(x); //リンクからの反力
         h = A \setminus bb;
         pp = rinku(x); //リンクからの f
//// 左 ////
a=x(1); da=x(2); b=x(3); db=x(4);
         ff=yuka([a; da; b; db]);
Ff=sentan([a; da; b; db], ff - pp);
T =toritu([a; da; b; db], 0);
                                                                                     //床反力
//振り子先端へのカ→一般化力
//倒立制御
 71 I
 721
         T-tofftu([a; da; b; db],0);
FT=[T; -T];
h=uhen([a; da; b; db], FT+Ff);
dx(1) = x(2); dx(2) = h(1);
dx(3) = x(4); dx(4) = h(2);
///// 右 /////
                                                                                     //トルク→一般化力
 73|
                                                                                     //加速度で整理した右辺
//運動方程式
74
761
```

```
a=x(5); da=x(6); b=x(7); db=x(8);
ff=yuka([a; da; b; db]);
Ff=sentan([a; da; b; db], ff + pp);
                                                                 //床反力
 79|
                                                                 //振り子先端へのカ→一般化力
       T =toritu([a; da; b; db],w0/r);
                                                                 //倒立制御
 81|
       FT=[T; -T];
h=uhen([a; da; b; db], FT+Ff);
dx(5) = x(6); dx(6) = h(1);
dx(7) = x(8); dx(8) = h(2);
                                                                //トルク→一般化力
 821
                                                                //加速度の右辺
//運動方程式
 831
 84|
86| endiunction

87| //// 運動方程式を解く ////

88| tn=501; tt=linspace(0,0.01*tn,tn);

89| x01=[0; 0; 0; 2]; //左側の初期値

90| x02=[w0/r; 0; 0; 0]; //右側の初期値

91| xx=ode([x01;x02], 0, tt, eom);

92| // ロボット描画用の関数

93| function R=Rot(a) //回転

94| R=[cos(a) -sin(a)
 86 endfunction
 94 R=[cos(a),-sin(a);
 95| sin(a), cos(a)];
96| endfunction
107
1081
1091
110|
111|
112
113| gc=gce(); gc.children.thickness=2;
114| endp=rod(:,2);
115| endfunction
                                                                //線の太さ
                                                                 //棒の先端
115 | endrance to n

116 | function draw_pair(x)

117 | a1=x(1); b1=x(3); ep1=draw_robot(a1,b1,"r-");

118 | a2=x(5); b2=x(7); ep2=draw_robot(a2,b2,"b-");

119 | plot([ep1(1),ep2(1)],[ep1(2),ep2(2)],"g-");

120 | gc=gca(); gc.isoview="on"; xgrid(4);
                                                                                  //r 赤
                                                                                  //b 青
//リンクの描画
                                                                                  //縦横比1; グリッド;
//座標軸の範囲
121 | gc.data_bounds = [-2.5, -1; 5.5, 2];
122 | endfunction
123| drawlater; draw_pair([x01;x02]); drawnow;
124| sleep (2000); //2s待ち
125| realtimeinit (0.01); //アニメーションの時間刻み
126| for i=1:10:tn
127| realtime(i);
          //描画延期; 描画消去;
                                                   //描画消去;ロボット描画;
1291
130|
                                                    //画面更新;
          drawnow:
131 L
    end
```

Code 9: "wip2-bb.sce" (Scilab)

```
//ステップ関数
 31 endfunction
 32 function y = trap(x, x0, w)
           y = step((x-x0)+w).*step(-(x-x0)+w);
33|
                                                                                  // 台形関数
// 符号関数
38| endfunction
39| //// 床からの反力 (ペナルティー法) ////
40| function ff = yuka(x)
41| a=x(1); da=x(2); b=x(3); db=x(4);
42| xm = [r*a+l*sin(b); r+l*cos(b)];
43| dxm = [r*da+l*db*cos(b); -l*db*sin(b)];
44| Kp=1e4; Cp=90; //これらの数値を変えると床の性質が変わる
45| R = step(-xm(2))*(-Kp*xm(2)-Cp*dxm(2)); //垂直抗力
46| F = -mu*R*sgn(dxm(1)); //摩擦力
47| ff = [F; R]; //床からの反力
48| endfunction
49| //// リンクからの反力 ////
50| function pp = rinku(x)
51| a1=x(1); da1=x(2); b1=x(3); db1=x(4);
52| a2=x(5); da2=x(6); b2=x(7); db2=x(8);
53| //リンクからの力
54| ww = [r*(a2-a1)+l*(sin(b2)-sin(b1));...
55| dww = [r*(da2-da1)+l*(db2*cos(b2)-db1*cos(b1));...
 38 endfunction
           dww = [r*(da2-da1)+1*( db2*cos(b2)-db1*cos(b1));.
1*(-db2*sin(b2)+db1*sin(b1))];
            w = norm(ww); //wwの長さ
            dw = ( dww(1)*ww(1)+dww(2)*ww(2) )/w; //wwの長さの時間微分
 591
            uu = ww/w; //単位ベクトル化
 601
65| endfunction
64| ///// 振り子先端に作用するカ→一般化力 /////
65| function Ff = sentan(x,F)
66| global r 1;
67| b=x(3);
68| Ff = [r, 0; l*cos(b), -l*sin(b)]*F; //一般化力への変換公式69|endfunction
 70 //// 倒立制御入力 /////
70| function u = toritu(x,a0)
72| a=x(1); da=x(2); b=x(3); db=x(4);
73| /// 制御の打ち切り×(位置制御 + 倒立制御) ///
74| u = trap(b,0,bmax)*(15*b + 1*db); //対戦用に「倒立制御のみ」に変更
 75 endfunction
75| endfunction
76| //// 運動方程式の右辺 ////
77| function h = uhen(x,F)
78| a=x(1); da=x(2); b=x(3); db=x(4);
79| A = [ (M+m)*r^2+J, m*l*r*cos(b); ...
80| m*l*r*cos(b), m*l^2];
81| bb = [m*l*r*db^2 *sin(b); m*g*l*sin(b)] + F; //Fは一般化力
            h = A \backslash bb;
 83 endfunction
84| //// 運動方程式の定義 ////
85| function dx = eom(t,x)
           86|
 87
 881
 891
 911
921
931
941
 951
96
 971
981
           a=x(b); da=x(b); b=x(7); db=x(8);
ff=yuka([a; da; b; db]); //床反力
Ff=sentan([a; da; b; db], ff + pp); //振り子先端への力→一般化力
T =toritu([a; da; b; db],w0/r); //倒立制御
99|
100
                                                                           //倒立制御
101|
           T = T + bang2(t);
FT=[T; -T];
                                                                           //バンバン入力をトルクに加算
//トルク→一般化力
102
1031
                                                                           //加速度の右辺
//運動方程式
           h=uhen([a; da; b; db], FT+Ff);
dx(5) = x(6); dx(6) = h(1);
1041
105|
```

```
R=[cos(a),-sin(a);...
sin(a), cos(a)];
115|
1161
117 endfunction
spoke=Rot(-a) * spoke;

spoke=Rot(-a) * spoke;

xpoke=Trans(spoke,[x;r]);

xv=[x*ones(1:sn);spoke(1,:)]; yv=[r*ones(1:sn);spoke(2,:)];

xsegs(xv,yv,2); xarc(x-r, 2*r, 2*r, 0, 360*64); //スポーク; 車輪

rod=[0,0;0,1];

rod=Rot(-b) * rod;

rod=Trans(rod,[x;r]);

// 位置xの棒の両端点

// 権の描画
128
1291
130|
131
132
1331
134 gc=gce(); gc.children.thickness=2;

135 endp=rod(:,2);

136 endfunction
                                                          //線の太さ
                                                           //棒の先端
137 function draw_pair(x)
138 a1=x(1); b1=x(3); a2=x(5); b2=x(7);
139 /// 重心まわりの描画 ///
         xM1=r*a1; xM2=r*a2; xm1=xM1+1*sin(b1); xm2=xM2+1*sin(b2); xG=(M*(xM1+xM2)+m*(xm1+xm2))/(2*M+2*m); //重心の座標
1411
         ep1=draw_robot(a1,b1,r*a1-xG,"r-");
                                                                      //r 赤
142
         ep2=draw_robot(a2,b2,r*a2-xG,"b-"); //b 青plot([ep1(1),ep2(1)],[ep1(2),ep2(2)],"g-"); //リンクの描画
143|
1441
                                                                      // 縦 横 比1
         gc=gca(); gc.isoview="on";
145
146 gc.data_bounds=[-3,0;3,2];
147 endfunction
                                                                      //座標軸の範囲
| 147| endfunction | 148| drawlater; draw_pair([x01;x02]); drawnow; | 149| sleep(2000); //2s待ち | 150| realtimeinit(0.01); //アニメーションの時間刻み | 151| for i=1:10:tn | 152| realtime(i);
         //描画延期; 描画消去;
1531
                                               //ロボット描画
1541
1551
156|
157 end
158 //// 転倒時刻の測定 ////
159 i_1win=0; i_2win=0;
160 for i=1:tn
161 b=xx(3,i); ep1=r+1*cos(b);
162 b=xx(7,i); ep2=r+1*cos(b);
163 if (ep1<0 & i_2win==0)
164 i_2win=i;
165 end
157 end
         if (ep2<0 & i_1win==0)
i_1win=i;
166
         end
1681
169 end
170 /////
            転倒時刻の表示 /////
170 / / / / / 171 | sy=1.5;
// 引き分け
                                                          //勝った時刻
t = %.2f (i=%d)",t_win,i_1win));
t_win=tt(i_2win); //勝った時刻
xstring(-2,sy,sprintf("Blue wins at t = %.2f (i=%d)",t_win,i_2win));
1781
179
180 else
         xstring(0,sy,"DRAW (both lose)");
                                                            // 共倒れ
182 | end
183 gc=gce(); gc.font_size=5; drawnow;
```